

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

弊連盟では上記の競技会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインを参考、下記の内容を作成しています。また、開催地の奈良県より開催の許可を得て開催いたします。安全、安心な大会運営を目指しますので順守をお願いします。なお、守っていただけない場合は、参加（入場）を認めない、また参加（入場）していても競技場から退場していただくことがありますので、ご理解ご協力をお願いします。

【2022 関西学連競歩強化記録会開催の前提条件】

1. 奈良県からイベントの開催が認められている。
2. 奈良県において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っていて、もし会場で発熱者が出た場合に、すぐに診察を依頼して受け入れてもらえる体制が整っている。

I 2022 関西学連競歩強化記録会開催にあたっての基本事項

感染症対策

- ・ こまめな手洗いを推奨し、多くの人が頻繁に触れる箇所は清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。
- ・ 屋内における適切なマスク(不織布マスクを推奨)の正しい着用の周知・徹底をする。
- ・ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保。
- ・ 2022 関西学連競歩記録会に関わる全ての人の体調管理を徹底する。

II 2022 関西学連競歩強化記録会開催にあたっての配慮事項

1. 感染症防止対策の基本

(1) 3密を回避（密閉・密集・密接）

- ① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）の対策
- ② 密集場所（多くの人が密集している）の対策
- ③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離で会話や発声が行われる）の対策

(2) 競技者およびチームスタッフに対し実施すること

- ① 競技会 1 週間前からの体調管理終了後 2 週間の体調管理・検温を義務付ける。
- ② 団体関係者は、入場者全員の体調を確認した証明として「確認書」を、当日の団体受付の際に提出する。なお、当日、「確認書」を提出しない団体の競技会出場を認めない。
※「確認書」：本競技会へ参加する団体関係者すべての体調を確認し、体調管理チェックシートの記載も確認した旨を証明する書類。提出が遅れる場合、事前に理由と共に弊連盟まで連絡すること。
- ③ 体調が不確かな競技者がいた場合は、医師の指示状況により参加を許可しない。
- ④ 競技中を除き屋内でのマスクの着用を義務とし、マスクをしていない人に対し注意を促す。
- ⑤ ミーティング等は、競技場内、競技場周辺等いかなる場所においても禁止とする。
- ⑥ 運動中につばや痰を吐くことは絶対に行わない。

(3) 競技役員/補助員について

- ① 文書・メール等を活用し、事前打ち合わせを減らす工夫をする。
- ② 新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患を持つ競技役員、高齢の競技役員にできる限り委嘱しない。
- ③ 3密の回避行動、屋内では必ずマスクを着用することを徹底する。
- ④ 共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさない。
- ⑤ 対人距離を確保するため、医務室の広さを十分に確保し、医師/看護師のいずれかを医務室に常駐させる。
- ⑥ 競技役員と競技者の動線をできる限り分ける。

(4) 観客 (OB、OG、選手の親族等) について

- ◆ 今競技会是有観客とする。詳細は「観客の皆様へ」を参照すること。

2. 競技種目ごとの配慮事項

(1) 競技運営・種目共通の配慮事項

- ① 腰ナンバーカードを使い回す際は消毒を実施する。
- ② 競技開始前 (招集～スタート地点での待機)
種目組ごとに招集時間を設定する。招集所では競技者同士の対人距離を確保し、手続きを簡略に行う。
- ③ 競技中・フィニッシュ後に倒れた競技者は、防護体制 (マスク、フェイスシールドなど) を整えたスタッフで対応する。
- ④ 記録発表の工夫
滞留を防ぐため正面玄関前および南西門付近の記録掲示板に貼り出さない。リザルトは HP と弊連盟公式 Twitter にて通知し、弊連盟公式 Twitter に掲載した時刻を正式発表の時刻とする。
- ⑤ 会場内では、新型コロナウイルス感染症対策を、アナウンスを通して積極的に周知する。

(2) 競歩競技における配慮事項

- ① スタート地点やフィニッシュ地点に留まることは短時間とする。
- ② 招集中・待機中は選手および競技役員はマスクを着用する。
- ③ 給水の競技役員・補助員は競技開始前に手指を消毒し、マスク、手袋を着用する。
- ④ 給水所にスポンジは使用しない。

3. 施設における配慮事項

(1) 施設入場時の配慮事項

- ① 入退場口での手指の消毒液を準備する。
- ② 対人距離確保の呼びかけ。
- ③ 体調管理チェックシートまたは確認書の提出を義務付ける。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ① 常時換気の実施 (窓開け・戸開けの実施)。※換気できない場所は利用しない。
- ② 諸室・招集所などの座席配置および直接の接触回避を工夫する。

- ③ 拡声器・通信機器を多用する。
- ④ 多くの者が接触する可能性がある箇所の清掃（消毒）頻度を増やす。
- ⑤ 雨天時の待機場所の確保・終了後、施設・用器具の清掃・消毒を行う。
- ⑥ トイレ（便座、ドアノブ、水洗トイレのレバー等）を清潔に保つ。

4. メディア・取材への配慮事項

（1）報道関係者への依頼

- ① 会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がけ、取材時はマスクを着用する。
- ② 開催1週間前の体調管理・検温の義務と体調管理チェックシートの提出、および終了後2週間の体調管理・検温を行う。
- ③ 事前に関西学連に問い合わせを行い、本連盟が定める感染症対策を遵守する場合のみ入場を認める。

5. 競技会終了後の対応事項（以下の体制を整え競技会開催に臨む）

（1）施設所有者・管理者への確認事項

- ① 競技終了後全ての箇所（机、椅子、ドアノブ、パソコン、トイレなど）を消毒する。

（2）参加者への周知事項と対応事項

- ① 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、奈良市とあらかじめ検討しておく。
- ② 参加者は新型コロナウイルス感染症を疑うような何らかの症状が出現した場合は、必ず最寄りの居住地自治体の衛生局に報告し、関西学連に報告する。
- ③ 競技会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された場合は関西学連に報告する。
- ④ 感染症の蔓延を防止し、感染症による健康リスクが個人や社会に与える影響を最小限にするために、感染症の発生状況等に関する情報を積極的に公表する必要がある。なお、当該情報の公表に当たっては、感染者等に対して不当な差別および偏見が生じないように、個人情報の保護に留意する。

関西学生陸上競技連盟（電話番号：06-6442-8770）